

概要版

令和2年度第1回野洲市みどりの基本計画検討委員会会議録

開催日時 令和2年 6月19日(金)
午後 3時00分～4時30分
場 所 市役所本館2階第5会議室
出席者 委員全員出席
傍聴者 あり

1. 開 会

- (1) 開会挨拶
- (2) 各委員紹介
- (3) 委員の選出・副委員長の指名

2. 議 題

- (1) 野洲市みどりの基本計画策定方針について
- (2) 今後の都市公園の整備方針について
資料2、資料3に基づき説明

審議結果

緑の基本計画に関する基礎知識、現行計画の概要や達成状況、改定計画の概要や改定のポイントについて、共通の認識をもっていただくために情報の共有を行った。また、配布資料に対する意見の他、みどりに対する考え方や思いなど、各委員の意見を出し合った。

現行計画に位置付けられた施策の取組状況に関する情報提供が必要であること、旧野洲町と旧中主町の将来図を一体化させること等に対して要望があり、今後、検討を行うこととなった。

主な意見

A委員 市街地面積は775haと資料に記載されているが、市域の面積はいくらか。全体の中での位置付けを明確にして、緑の基本計画で対象とする緑を絞っていかないといけないのではないか。

事務局 琵琶湖部分を除いて80.15km²である。

A委員 単に市街地だけをつくらず、緑を広くとって自然との関係を広げることで、心や精神が豊かになることにより、まちのレベルが向上するといったジェントリフィケーションという考え方がある。野洲市でもこのような視点で改定する必要があるのではないか。そうすることで、琵琶湖や山とのつながりや歩行者及び自転車ネットワークなどで車に頼らない安心して移動できるまちになれば河川が生きてくるのではないか。

A委員 用途地域との関係や農地との関係も一緒に捉えていく必要があると考える。

B委員 公園は、人の営みに対しての公園なのか、自然の営みに対しての公園なのかであり方が変わると思う。野洲市の現状では、どちらの公園も適正に維持管理されていない印象がある。イベントの実施状況や使用頻度、費用対効果などを考慮して優先的に維持管理する公園を選択していく必要があるのではないか。

C委員 コロナウイルスの影響による外出自粛期間中、野洲川河川公園に訪れる人が多かったことを受けて、公園は人にとって重要な憩いの場だと感じた。そのため、アフターコロナ時代の対策や人の関わりに対しての公園の役割を改めて考えなければならぬと思った。

また、子育て世代のニーズの視点、高齢者や現役世代の健康維持など多目的な利用に関する視点、防災やメンテナンスの視点についても考えたい。

D委員 市民の利用が進む公園づくりを考えていかなければならないと思う。ただ、利用者によってニーズが違うので、一つの公園で全てのニーズに合った公園をつくると公園の特性が薄れてしまう。そのため、自然豊かな地域だと自然豊かな公園といった地域の特性を活かした公園づくりを考えていく必要があるのではないか。

E委員 都市公園面積の長期目標に対して現況の数値との差がかなりあると感じた。最近の動向でも、インフラは進んでいるが、みどりはいつも後回しの印象を感じる。また、みどりはあっても田んぼなどで、子供が遊べるようなみどりではない。芝生や木がたくさんあり、カフェも併設されているような海外の公園のように、多自然で多目的に使える公園があってもいいのではないか。

F委員 三上山や琵琶湖など野洲市の特徴に興味を持って展開していくことが、野洲市らしさのある公園づくりにつながるのではないか。また、放置されている公園については、費用などの負担が少ない整備ができないか考えていければと思う。

G委員 公園をつくるにあたっては、公園の利用者や公園を利用する目的などターゲットを絞って考えなければならぬと思う。また、今後は小さい公園をたくさんつくるよりも大きな公園を作り、それに対してどのような設備を備えるのかを考えていけばよいと思う。

A委員 現行計画の緑の将来像や施策の体系は、現状と比較してどう合わなかったのか、どういうふうにズレが生じているのか説明がほしい。その説明があれば課題が明らかになり、解決しやすいのではないか。

委員長 旧野洲町と旧中主町の将来像や施策の体系をくっつけて整理していただきたい。

委員長 通常は、みどりの基本計画の序論の方に現状についての評価があって、課題があって、方針があって、具体的な施策につながる流れがある。現状の評価のところ、どこにどういった公園があり、旧計画に位置づけられていたが未整備の状況であるなどの情報も入ってくる。そういったところから次回以降、案として示されていく予定である。

事務局 詳細な資料については、次回以降ご提示させていただく。

3. その他

(1) 今後のスケジュールについて

資料4に基づき説明

審議結果

今後のスケジュールとして、大まかな策定までのスケジュールの案内を行った。コロナウイルスの影響により、2回目以降の委員会が対面での開催が難しくなった場合に備えたスケジュールの検討が必要である。

主な意見

委員長 今後、コロナウイルスの影響でスケジュール通り進めることが難しくなることもあるのではないかと。そういった場合、オンラインでの開催も検討しているのか。また、最悪の場合、完成が3月末以降になってしまってもよいのか。

事務局 今後、オンラインでの開催が可能かどうかについては検討していきたいと考えている。もし、コロナウイルスが再び流行し、対面での開催が難しくなった場合、オンラインでの開催が難しければ、スケジュールにズレが生じることも致し方ないと考えている。

4. 閉会

以上